

久々に雪山歩きを満喫(Eパーティ)

巻機山 高仙尾根～割引岳～巻機山～威守松尾根

岩田

【日時】2008年4月5～6日

【メンバー】L棚橋、笹川、岩田、煤孫

朝、目が覚めると思った以上に寒い。東京はすでに春なのだが新潟はまだ冬が残っているようだ。しかし天気は快晴。沢の雪は溶け始め水の流れる音が聞こえて春らしさも感じられる。

姥沢新田の林道終点で準備をしていると近くの民家の子供が珍しそうにこちらを見ている。山屋がそんなに珍しいのだろうか？最後は手を振って見送りまでしてくれた。新潟の子供は純粋でとても可愛い。

姥沢川沿いに歩き、地図上の登山道が消えた辺りから高仙尾根の支尾根に取り付くが思ったより急で雪も腐っていてなかなか悪い。ザイルを出すほどではないがところどころ地面が露出していてスリルを味わう。この尾根が地図で見たより長く苦労するがなんとか850m付近の岩場に到着。ここからも急な尾根が続くが先ほどのような危険な箇所は無い。1250m付近から



傾斜は緩やかになり平坦な箇所が多くなりテン場探しには困らない。しかし、ここで泊まってしまうと翌日が辛いので先を進む。ここら辺から割引岳が見えてくるのだがまだまだ遠い。この日に越えられるのではないかとも思ったが煤孫さんがちょっと疲れてしまったようだ。それでもいいペースで歩いているので予定通りのコースは走破できそうだ。ということで1781mのピーク手前で幕営とした。

日はまだ高く、時間はまだあるのでテント周囲にしっかりとブロックを積む。おかげで稜線上なのに風を完全に防ぐことができ、暖かで快適なテント生活のできたのである。

翌朝も快晴。朝焼けで稜線が薄いピンク色に染まり美しい。雪はアイスバーンになっていてスリップしたら一大事だがアイゼンが気持ちよく刺さって快適に歩ける。急な斜面のトラバースが続くが美しい朝焼けを眺めながらの雪山はやはり気分がいい。小さな

標識がある割引岳を越え、巻機山に到着するが山頂はどこかよくわからない。巻機ってこんな山だったっけ？うーん、感動はイマイチ。しかし、これから行く尾根が完全に見える。ここから南下し緩やかな尾根歩きとなる。途中、1809mピークで耕至パーティーと合流。無線からも他パーティーの声が聞こえ始めみんな順調に進んでいるようだった。2つ目の1809mピークから威守松山に向けて下り始める。スキーほどではないが下降は一気に下れる。途中、登ってくる矢野さんたちの日帰りスキーパーティーとすれ違い、下降途中の山口パーティーに追いついたりしながらひたすら下ると清水の集落に到着。あっという間だった。清水の集落には雪解け水が勢いよく流れていてすっかり春である。 民宿・上田屋で風呂につかり不思議な味の「山菜だらけそば」を食べているとぞくぞくと下山してきた。久しぶりの会山行大成功だった。



このところクライミングばかりで歩くことからすっかり遠ざかっていたがやはり雪山、特に春山は気持ちがいい。もうちょっと歩きに行かないとなー。



【行程】 4/5 駐車場(7:30)～稜線850m付近(10:35)～1781mピーク手前B・P(15:00)

4/6 B・P(5:20)～巻機山(6:40)～1809m下降地点(10:00)～清水(12:20)

【地図】 巻機山